

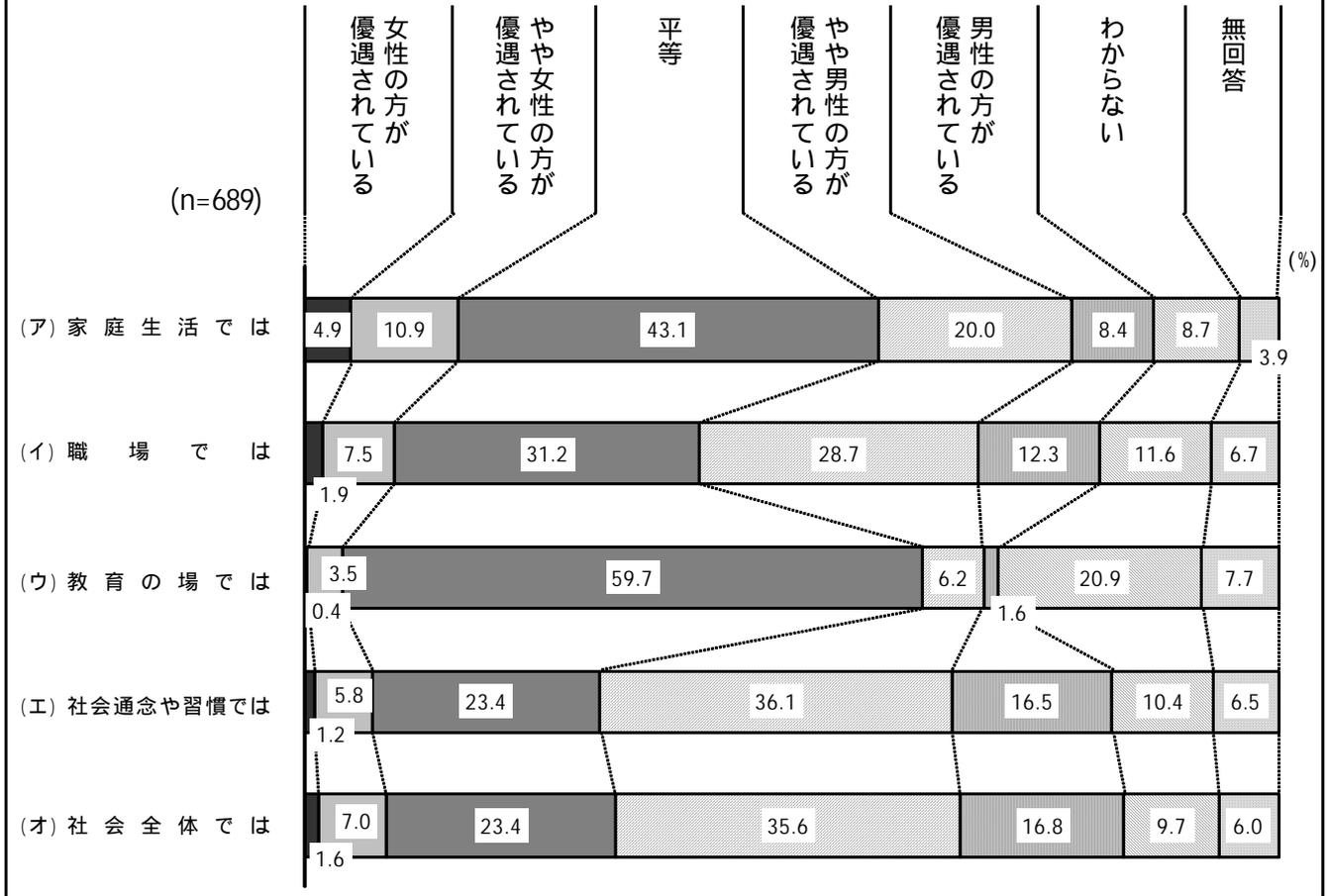
10. 男女共同参画

(1) 男女の地位

教育の場での「平等」、家庭生活での【男性の方が優遇】が約6割

問29 あなたの身近なそれぞれの場において、男女の地位は平等になっていると思いますか。その場がない場合でも、周りを見て最も近いと感じることをお選びください。(ア)から(オ)までの各項目について、それぞれ1つずつ選んで下の表の番号に をつけてください。

<図表10-1>男女の地位



それぞれの場面での男女の地位について尋ね、回答の「男性の方が優遇されている」と「やや男性の方が優遇されている」を合わせた【男性の方が優遇】、「女性の方が優遇されている」と「やや女性の方が優遇されている」を合わせた【女性の方が優遇】としてみると、各項目の中では社会通念や習慣での【男性の方が優遇】(優遇:16.5%、やや優遇:36.1%)が52.6%と最も高い割合を示す。

社会全体についての【男性の方が優遇】(優遇:16.8%、やや優遇:35.6%)の52.4%も5割を超えている。

「平等」は、教育の場(59.7%)が約6割と最も高い割合を示した。

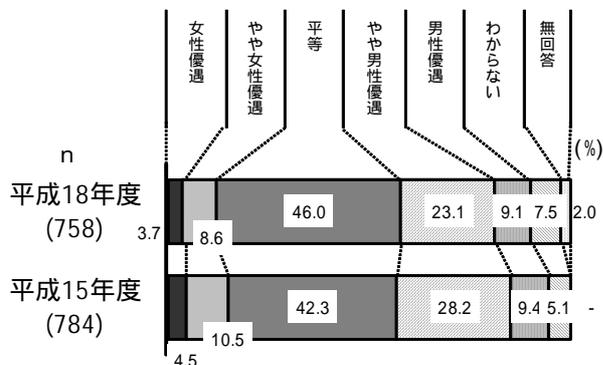
【女性の方が優遇】で最も割合が高かった項目は、家庭生活で「女性の方が優遇されている」(4.9%)、「やや女性の方が優遇されている」(10.9%)を合わせた15.8%となっている。(図表10-1)

教育の場での「わからない」の割合が他の項目より高くなっているが、回答者の属性が「学生」の数が8件と少なく、男女ともに30代の3割程度、40代の2割強が「わからない」と回答している。属性が「学生」の方の回答だけを見ると、「平等」7件(87.5%)、「やや男性の方が優遇されている」1件(12.5%)となっている。(本報告書「V.集計結果表」のとおり)

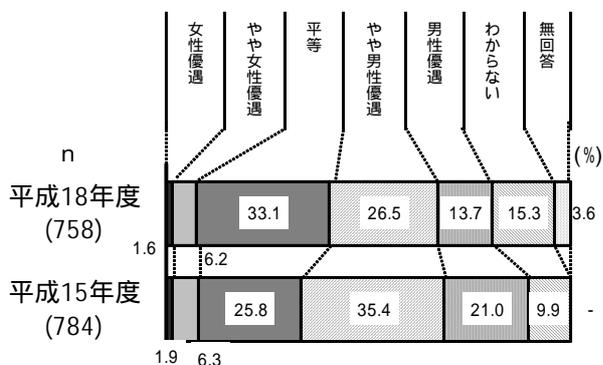
過年度調査の推移をみると『社会全体』での「やや男性優遇」と「男性優遇」の合計が約7ポイント減少している。(図表10-2)

<図表10-2> 男女の地位 / 過年度推移

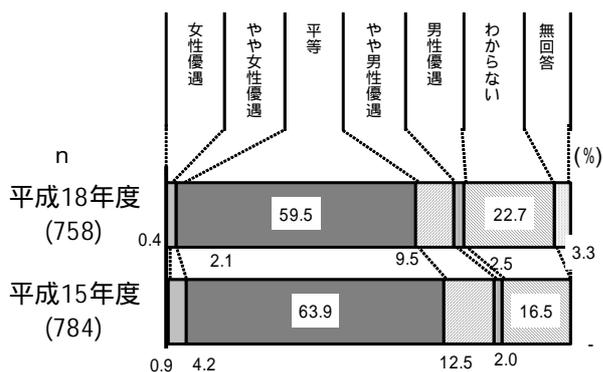
【家庭生活】



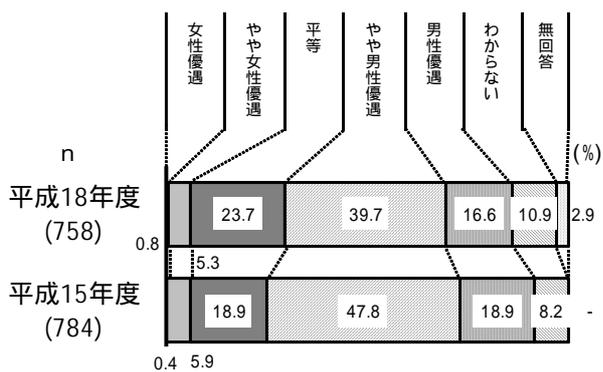
【職場】



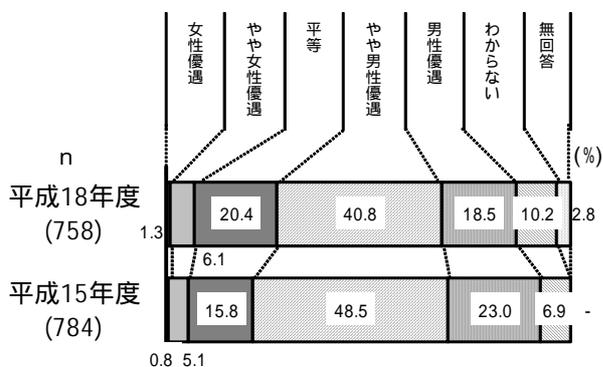
【教育の場】



【社会通念や習慣】



【社会全体】

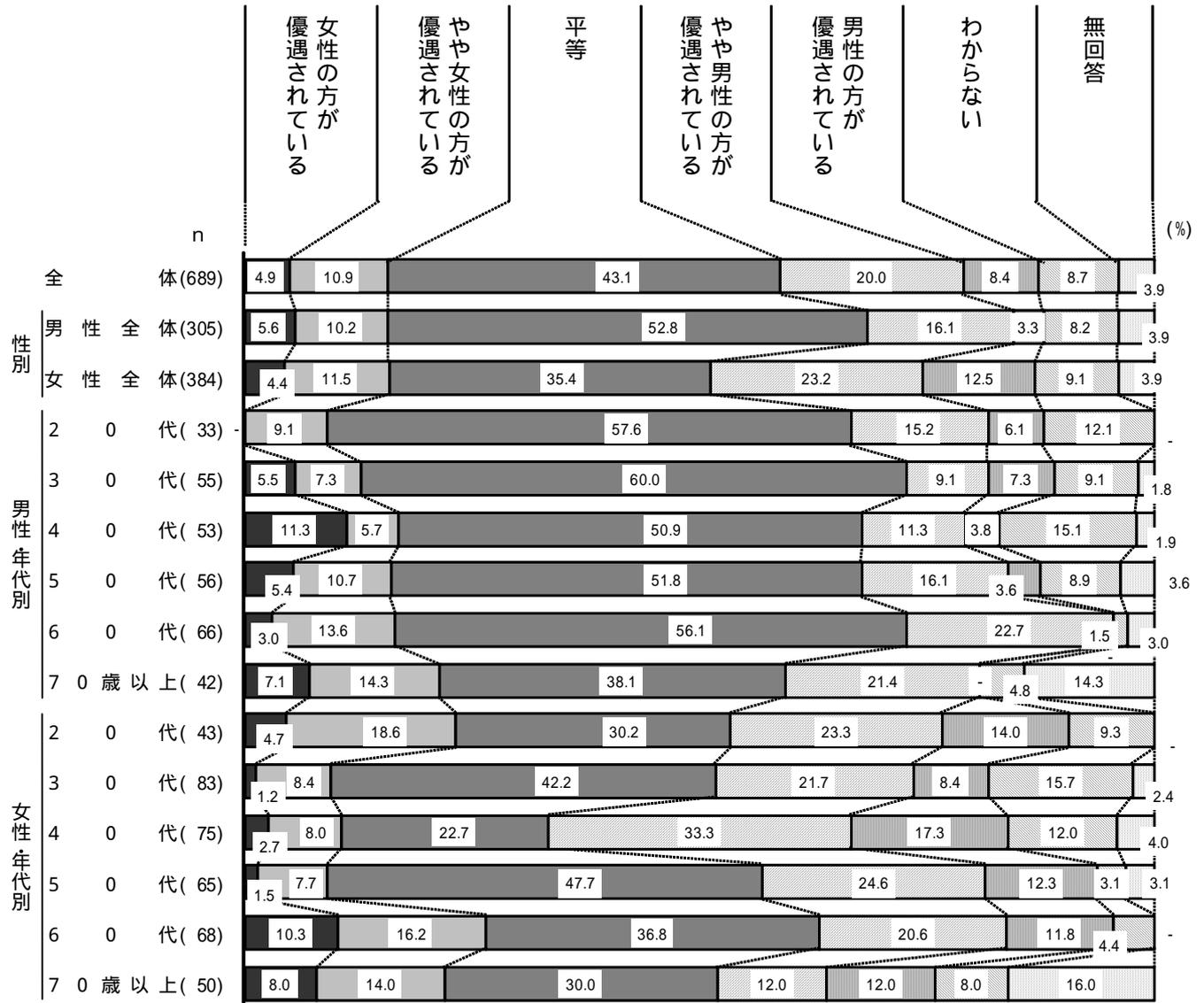


以下、各項目について性別、性・年代別にみてる。

(ア) 家庭生活では

「女性の方が優遇されている」、「やや女性の方が優遇されている」は男女間の差異はみられなかった。「平等」は男性全体（52.8%）の方が女性全体（35.4%）より1割以上高い割合を示す。女性の40代では「平等」（22.7%）が他の性・年代より低い割合を示し、「やや男性の方が優遇されている」（33.3%）は他の年代よりやや高い割合を示す。「やや男性の方が優遇されている」、「男性の方が優遇されている」は全ての年代で男性より女性の方がやや高い割合となった。（図表10-3）

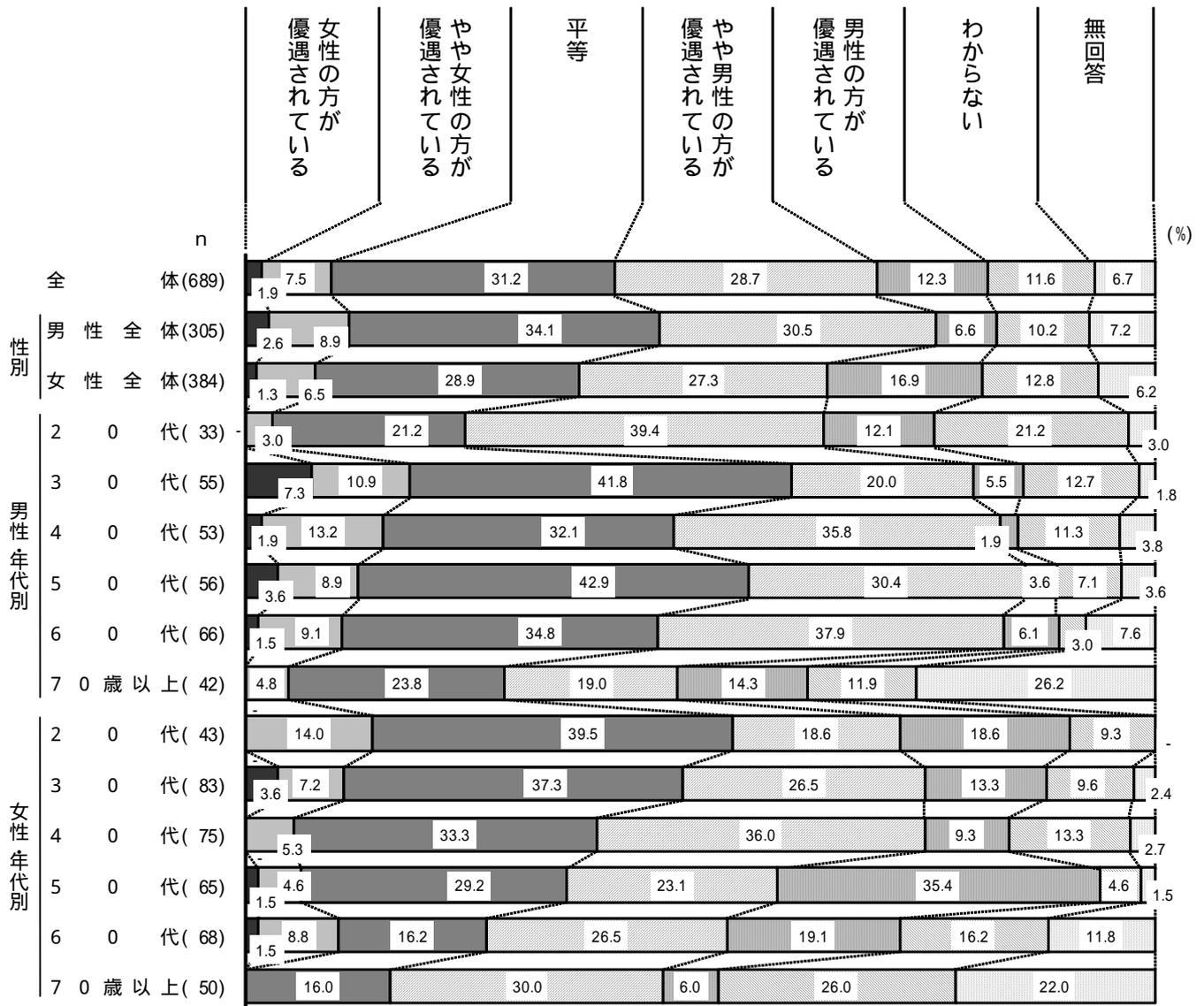
< 図表10-3 > 男女の地位(家庭生活) / 性別、性・年代別



(イ) 職場では

性別では、「男性の方が優遇されている」が男性全体(6.6%)より女性全体(16.9%)の方が1割程度高い割合を示す。年代別では、「やや女性の方が優遇されている」が男性の40代(13.2%)、女性の20代(14.0%)が他の性・年代別より若干割合が高く、「男性の方が優遇されている」は女性の50代(35.4%)で他の性・年代別より高い割合を示す。(図表10-4)

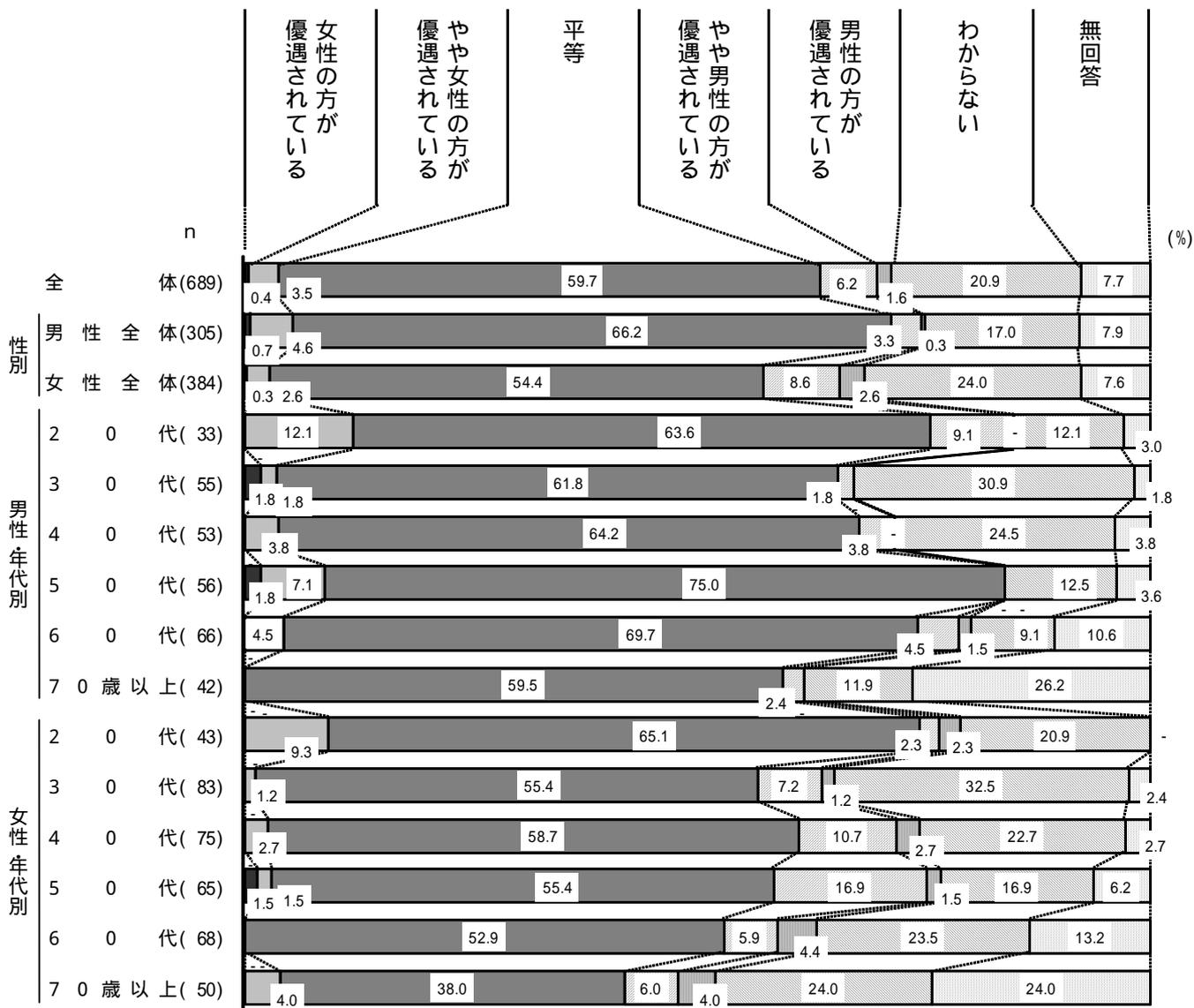
<図表10-4> 男女の地位(職場)/性別、性・年代別



(ウ) 教育の場では

性別では、「平等」が男性全体(66.2%)より女性全体(54.4%)の方が1割程度高い割合を示す。年代別では、「やや女性の方が優遇されている」が男女とも20代(男性12.1%、女性9.3%)で他の性・年代別より若干割合が高く、「やや男性の方が優遇されている」は女性の50代(16.9%)で他の性・年代別より高い割合を示す。「平等」は女性の70歳以上で他の年代より1割以上低い割合となっている。(図表10-5)

<図表10-5>男女の地位(教育の場) / 性別、性・年代別

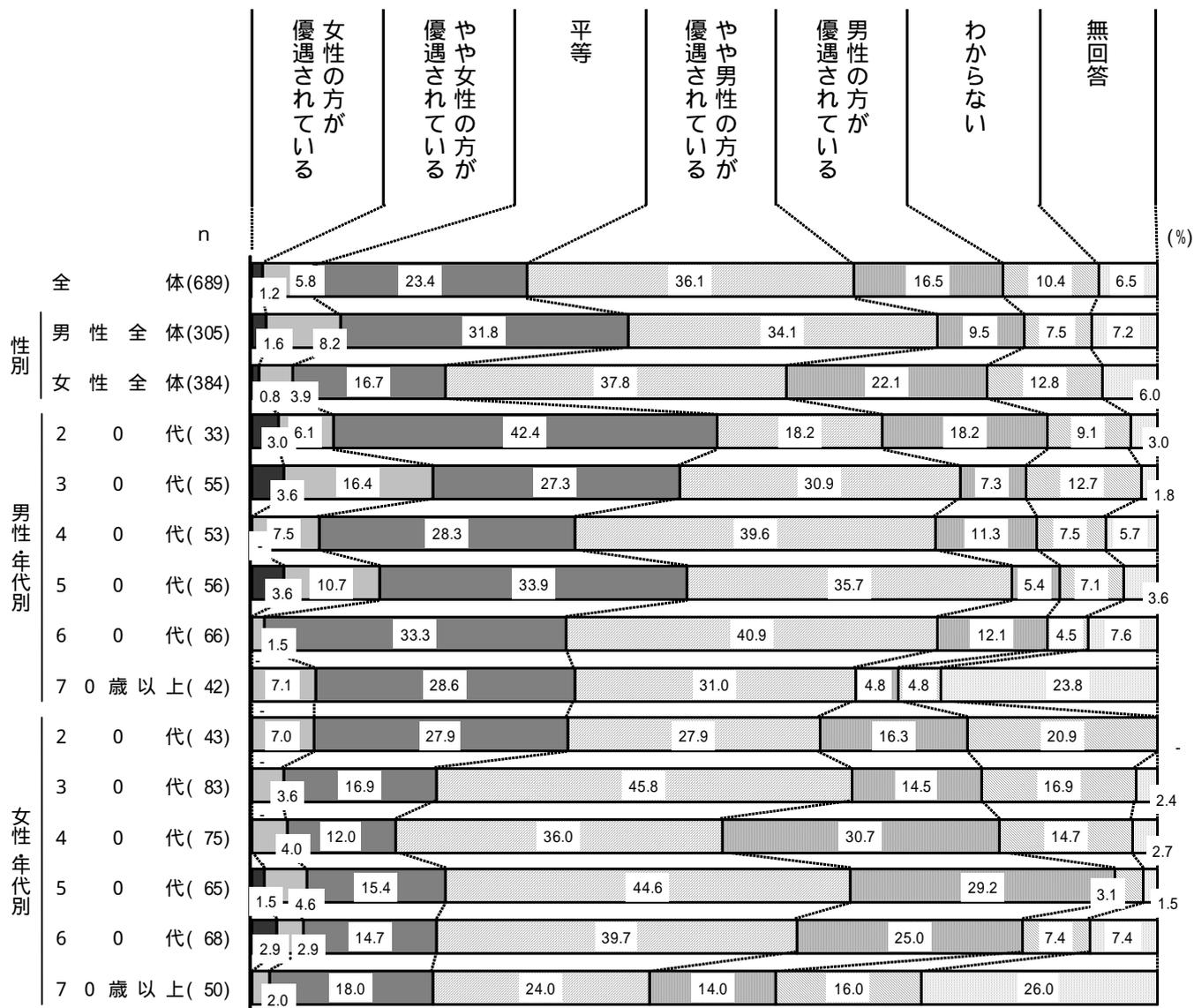


(エ) 社会通念や習慣では

性別では、「平等」が男性全体（31.8%）で女性全体（16.7%）より、「男性の方が優遇されている」は女性全体（22.1%）が男性全体（9.5%）よりそれぞれ1割程度高い割合を示す。年代別では、男女ともに20代で「平等」（男性42.4%、女性27.9%）が他の年代よりやや高い割合を示し、「やや男性の方が優遇されている」は女性の30代（45.8%）、女性の50代（44.6%）で4割半ばとなっている。

(図表10-6)

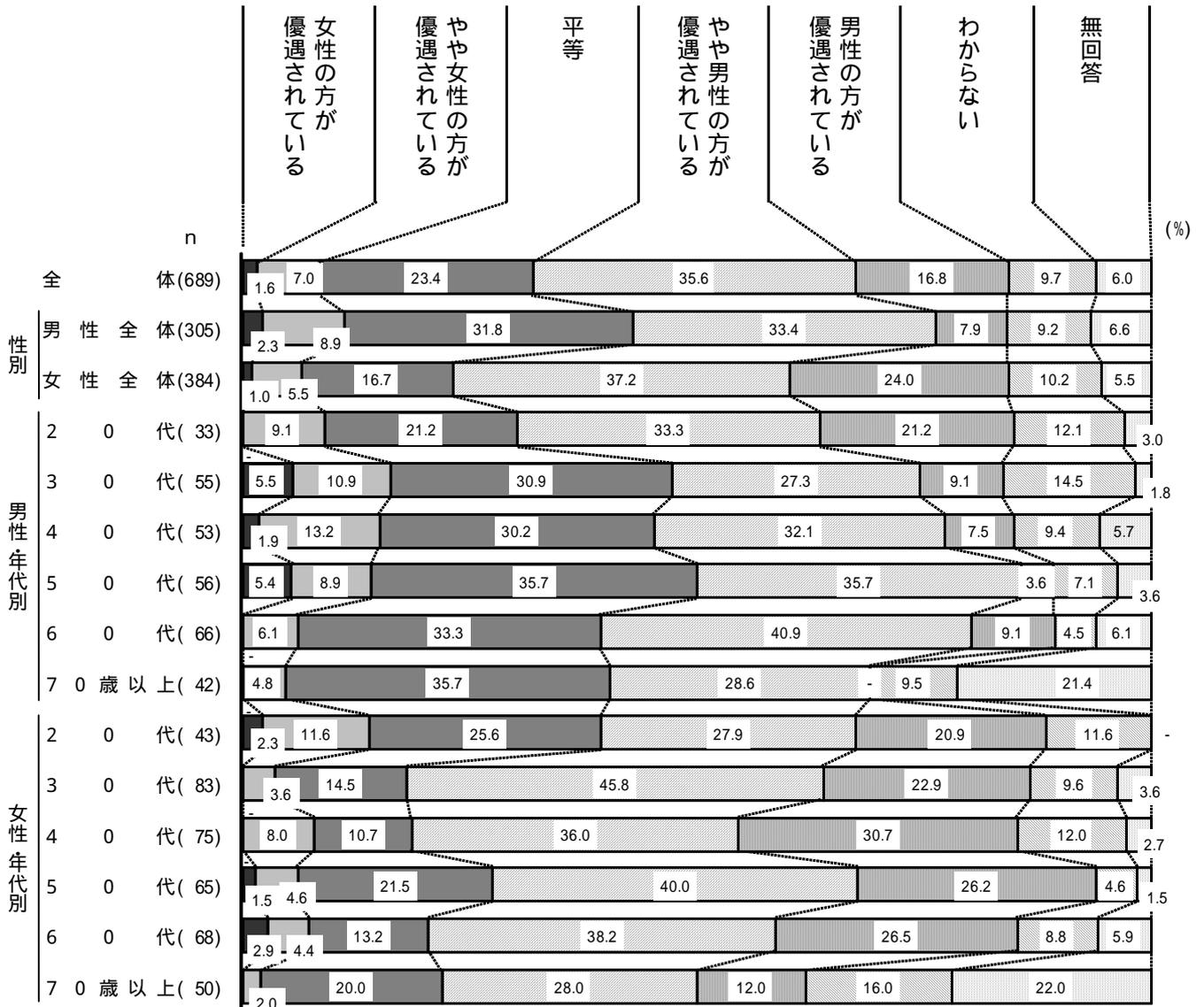
<図表10-6>男女の地位(社会通念や習慣) / 性別、性・年代別



(オ) 社会全体では

性別では、「平等」が男性全体（31.8%）で女性全体（16.7%）より、「男性の方が優遇されている」が女性全体（24.0%）で男性全体（7.9%）より15ポイントほど高い割合を示す。「平等」は男女の20代での差異はわずかだったが、その他の年代では女性より男性の方が1割以上高い割合を示す。「男性の方が優遇されている」は20代で男女の差異はわずかだったが、他の年代では、1割以上高い割合を示す。（図表10-7）

< 図表10-7 > 男女の地位(社会全体) / 性別、性・年代別

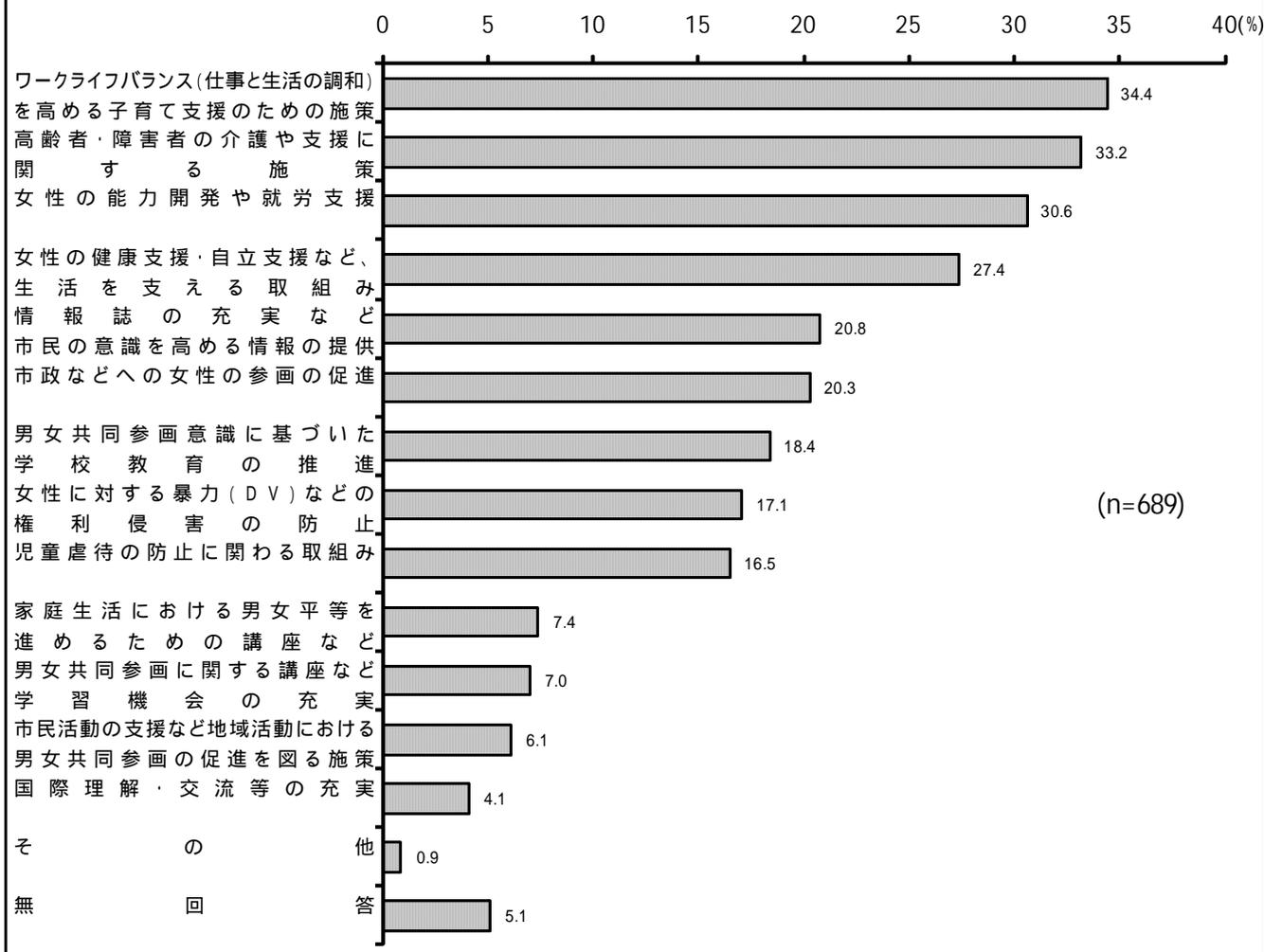


(2) 男女共同参画社会の実現に向けた重点取り組み

「ワークライフバランス(仕事と生活の調和を高める子育て支援のための施策)」「高齢者・障害者の介護や支援に関する施策」、「女性の能力開発や就労支援」が3割台

問30 男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべきと思う取組みはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

<図表10-8> 男女共同参画社会実現のための重点取り組み(複数回答)



男女共同参画社会の実現に向けた重点取り組みについては尋ねたところ、「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)を高める子育て支援のための施策」(34.4%)が最も割合が高く、「高齢者・障害者の介護や支援に関する施策」(33.2%)、「女性の能力開発や就労支援」(30.6%)が3割台、以下、「女性の健康支援・自立支援など、生活を支える取組み」(27.4%)、「情報誌の充実など市民の意識を高める情報の提供」(20.8%)、「市政などへの女性の参画の促進」(20.3%)が2割台、「男女共同参画意識に基づいた学校教育の推進」(18.4%)、「女性に対する暴力(DV)などの権利侵害の防止」(17.1%)、「児童虐待の防止にかかわる取組み」(16.5%)、「家庭生活における男女平等を進めるための講座等」(7.4%)、「男女共同参画に関する講座等の学習機会の充実」(7.0%)、「市民活動の支援等地域活動における男女共同参画の促進を図る施策」(6.1%)、「国際理解・交流等の充実」(4.1%)の順となっている。

(図表10-8)

上位6項目を性別にみると、「女性の能力開発や就労支援」、「女性の健康支援・自立支援等、生活を支える取組み」は男性全体より女性全体が15ポイントほど高い割合を示す。性・年代別にみると、「ワークライフバランスを高める子育て支援のための施策」は男性の30代(49.1%)、女性の20代(55.8%)、女性の30代(54.2%)で5割程度となり、40代を境に年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向がみられ、「高齢者・障害者の介護や支援に関する施策」は、男女ともに50代から年代が高くなるにつれて高い割合を示す傾向にある。特に男女とも70歳以上(男性54.8%、女性52.0%)では5割を超えている。「情報誌の充実など市民の意識を高める情報の提供」はほぼ全ての年代で男性が女性よりやや割合が高く、特に60代(39.4%)と70歳以上(42.9%)では約4割と、同年代の女性より2割弱高い割合を示す。(図表10-9)

<図表10-9> 男女共同参画社会の実現に向けた重点取り組み/性別、性・年代別(上位6項目)

